

サテライト展示、はじめました。

2010年05月14日

「愛知県美術館のブログを読んでいるけど、愛知県美術館って遠いから行きづらい…。」とっていらっしゃった田原市近郊の皆さん、今週末より田原市博物館でサテライト展示が始まります。

サテライト展示とは、愛知県美術館まで来るのが難しい地域の方々にも当館の所蔵作品をご覧いただくため、今年度より実験的に始まった企画です。第一弾である今回は、当館が多数所蔵している北川民次（1894-1989）の作品が田原へと運びこまれました。北川は、田原市博物館で個展開催中の杉浦正美（1926-）の先生の1人なのです。



↑北川作品の中には、母子像を描いたものがあります。



↑ 焼き物の町、瀬戸をモチーフにした版画のシリーズも並びます。

油絵、版画など多くの北川作品が展示されるのですが、見逃してはいけないのは《メキシコ三童女》(1937)でしょう。この作品、破損をさけるために愛知県美術館の外へ出るとはとても少ないのです。(非常に作品の表面がもろく、ちょっとした移動や湿度の変化で影響を受けてしまうデリケートな作品なのです・・・)。そのため、今回のサテライト展示は、愛知県美術館以外の場所でこの作品がご覧いただける貴重なチャンスとなっております。ぜひ、お立ち寄りください。



↑ 久しぶりに愛知県美術館の外へ出た三童女さん。独特のぬめりのある表面をご覧ください。

(F. N)